



やる気と笑顔にあふれ ともにかがやく 学校をめざして

# 曾根小だより

HP <http://www.nishikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

新潟市立曾根小学校  
新潟市西蒲区曾根 750 番地  
全校児童 172 名（家庭数 138）  
令和 7 年 11 月 7 日発行



## 「こころとあたまの、深呼吸。」



校長 古井丸 裕三

先日(10月25日)の「土曜参観・絵画展」には、たくさんの保護者、地域みなさんからお越しいただき、誠にありがとうございました。子どもたちの学習の様子とともに、一人一人の個性が輝く絵画作品を見ていただくことができ本当に良かったと思います。また、講演会を企画してくださった PTA 教養・文化委員会のみなさんにも感謝いたします。講師の TSUNEI さんの心に響く言葉と素敵で歌声で楽しい時間を過ごすことができました。さらに、伝統の「灯籠展」の準備や撤収作業にご協力いただいた PTA 役員と「おやじの会」のみなさん、点灯式でご講話いただいた「校祖会」の榎本博さんにも感謝いたします。

さて、「土曜参観・絵画展」の代休日に、以前に買っておいた『本を読むだけで脳は若返る』(川島隆太著)という本を読みました。読み進めていくうちに、とても気掛かりな文章に出会いました。

本とスマートフォンは「情報をもたらす」という点では同じ機能があるといえますが、まるで対極の存在です。それを使う時の脳の活動が全く違うのです。**読書は脳の「全身運動」になりますが、スマートフォンは受動的で脳は全く働きません。そればかりか、脳の活動を抑制する機能さえあるのです。**

これまでも、スマートフォンなどの端末の過度な使用と学力低下の関係については、「スマホやタブレットを使うことによって学習時間が減るため学力が低下する」、「スマホやタブレットを使うことによって睡眠時間が減るため学力が低下する」などのことが言われてきました。この本ではさらに、某大学の研究機関の調査結果を引用しながら、「スマホやタブレットを使うこと自体が脳の働きを低下させ、学力を低下させる原因になる」ことが指摘されています。スマホなどを使った分だけ子どもたちの未発達な脳がダメージを受けているとすれば、それはとても恐ろしいことです。もちろん、学力低下につながる原因は一つではありません。しかし、ゲームや動画の話ばかりして学習に集中できない、文字を読んだり書いたりすることを嫌がる、根気強く考えることができない、自分で感情をコントロールできない、そんな子どもたちの姿を見ていると、スマホやタブレットの過度な使用(依存)による影響ではないかと疑いたくなります。

コロナ禍以降、社会ではオンライン会議が行われるようになり、学校では「一人一台端末」が導入され、教科書やノートと同じように学習用具の一つとしてタブレットを使用するようになりました。授業においては「個別最適な学びと協働的な学び」が促進され、すばらしい可能性があることが分かってきました。情報化が加速度的に進むこれからの時代を生きていく子どもたちにとって、情報モラルを含めた情報活用能力は必要不可欠です。家庭と学校が力を合わせて、**どんなに便利で素晴らしい技術にもメリットとデメリットがあることを教え、適切な使い方ができるような環境づくりに取り組む必要があると思います。**

上記の本は、「本を読むことが脳を鍛え、集中力や理解力、想像力などの学ぶ力の基盤となる『非認知能力』を育てる」と結論付けています。10月27日(月)から11月9日(日)までは、全国的に「秋の読書週間」です。今年の標語は、「**こころとあたまの、深呼吸。**」です。何ともすばらしい言葉ではありませんか。**子どもたちが読書のすばらしさに触れ、学ぶ力の基盤や豊かな情操が育まれることを願っています。**

## ● 1・2年 生活科 サツマイモの収穫 10月15日



「この日しかない」という絶好の秋晴れの下、土に触れる楽しさや収穫の喜びを感じながら活動することができました。子どもたちは精一杯の力で掘り続けましたが、地中深くからサツマイモを掘り出すのは至難の業です。たくさんの地域の方や保護者のみなさんから活動をサポートしていただいたおかげで、大きなイモをたくさん収穫することができ、子どもたちは大満足の様子でした。価値ある体験活動を行うことができました。

## ● 土曜参観・絵画展(PTA 講演会・灯籠展) 10月25日



かつては、6月に行われていた「校祖祭」で曾根神社天満宮の境内に飾られていた伝統ある灯籠に、今年も灯がともりました。来場してくださった年配の方からは、「懐かしいね」「子どもの頃を思い出すね」などの声が聞かれました。学校の開設に尽力された「校祖」新保正興先生の遺徳を偲ぶこの伝統行事を、これからも大切に守っていききたいと思います。灯籠の制作にご協力いただいた家庭(全ての家庭から出品していただきました)、地域のみなさん、展示作業を手伝ってくださった PTA 役員のみなさん、ご協力をいただきありがとうございました。

## おいせ



### ● 曾根小学校は「いじめのない学校」を目指しています

曾根小学校では、自己肯定感の向上や支持的風土の醸成を通していじめの未然防止に取り組むとともに、子どもたちが安心して学校生活を送れるように子どもたちの人間関係づくりを支援し、子どもたちの力でトラブルを解決する力を育てたいと考えています。

いじめの早期発見・早期対応についての取組や解決に向けたロードマップは、「曾根小学校いじめ防止基本方針」に示してあります。学校ホームページに掲載していますのでご覧ください。

成長の過程で、友達同士のトラブルはつきものです。私たち大人は、子どもたちの訴えに過敏に反応することなく、冷静に状況を受け止めた上で、心のもち方や行動の仕方について助言したいものです。

いじめを根絶するためには、「いじめをしない子ども」を育てることが最も効果的です。そのために、学校、家庭、地域が連携し、地域総がかりで曾根小学校の子どもたちを育てていきましょう。